

クラス	TU321	担当教員	中嶋 理香 (なかじま りか)
テーマ	子どもの心と身体の発達と支援		
著書・論文 研究課題等	幼児期・学童期の障害理解教育とその教育を担う学生育成 — 障害をテーマとする絵本リストの作成 — 名古屋芸術大学研究紀要第42巻 221-241, 2021		
ゼミナール概要			
キーワード：障害理解教育 子どもの語り			
<p>私たちは、自分—友達／家族の関係等から自分を形作っていきます。皆さんの障害観がどのようなプロセスを経て作られてきたのでしょうか？正しい障害知識ってあるのでしょうか？子ども達が自らの障害観を形作る中で、大人である私たちはどのように「障害」を取り上げていくとよいのでしょうか。こうした問題意識をもって取り組めます。</p> <p>学習目標：障害理解教育の現状と課題について説明することができる。</p> <p>目的：昨年に引き続き「子どもたちに障害をどのように教えたらいいか」を考えます。</p> <p>方法：障害を扱った絵本を用いて、その内容が幼児期、学童期にある子どもにあるどのように理解するのかを実践的な調査する。子どもが障害を扱った絵本を手にして、どんな「語り」をするのか。過去の研究に学ぶとともに、新しい視点を加えたいと考えています。</p> <p>第1回：オリエンテーション 第2～7回：これまでの研究，論文を読み解く 第8回：調査計画 第9回：調査計画 第10回～第13回：調査 第14回：結果報告 第15回：まとめ</p> <p>*緊急事態宣言等により計画通りに実施できないこともある。</p>			
担当教員からのメッセージ			
<p>答えがない「課題」に取り組めます。積極的に「障害を子どもに伝えるにはどのような方法があるか」「今ある情報や資料の信頼性・妥当性を評価する批判的な目」をもった行動できる学生を希望いたします。希望者多数の場合、面談したいと考えています。4年生との交流する機会を多く持ちます。</p>			